

涼しさを感じる高原風景はかが 水ノ登山・籠ノ登山

| | |
|------|---|
| 実施日 | 2009年8月23日(日) |
| 天候 | 晴 |
| リーダー | 涌井 良明 |
| 参加者 | 佐藤金治、涌井良明、山崎富美恵、 鈴木恵美子 計4名 |
| 費用 | 5,000円(自動車利用・一人負担額) |
| タイム | 荻窪駅北口(6:30)池の平駐車場 (9:00~9:20)東籠ノ登山(10:16~ 10:30)西籠ノ登山(10:50~11:02) 昼食(11:10~11:45)東籠ノ登山 (12:15~12:10)水ノ登山(13:10~ 13:20)高峰温泉登山口(14:07~ 14:17)池の平駐車場(15:10~ 15:30)荻窪駅北口(20:50) |
| データ | 積算距離 9.06km 総上昇量 502m 最高高度 2237m 移動時間 4時間3分 停止時間 1時間57分 移動平均速度 2.2km 全体平均速度 1.5km |

コピー通りの爽やか初秋を満喫する山行が出来た。

渋滞にも遭わず順調に池の平駐車場に着くと意外に涼しく秋近しを感じさせる。

案内板に従って、籠ノ登山へ向かう、当初予定と逆コースだが、地蔵峠(湯の丸高原)と車坂峠(高峰高原)のシャトルバスが運行終了のため、池の平からの周回コースとした。



道の両側は初秋の雰囲気たっぷりの花々のオンパレードである、頻りにカメラの出番があるので、歩みは牛歩になってしまうが今日はそれも目的、楽しみながら緩い登りを行く、森林限界近くで視界が開ける、眺めが良いのは知っていたが、ギョ！ギョ！ギョ！である。

まず目に飛び込んできたのは北アルプスの全部、そしてその僅か左奥に木曾御岳山、その左に中央アルプス、八ヶ岳、更に富士山を背景に南アルプスが連なり、日本の名だたる山稜が全て見えているのではと思わせる眺望が待っていてくれた。薄雲は広がっているものの何とまあ！呆れるほどの眺めである。

足元にはアキノキリンソウ、マツムシソ

ウ、イワインチン、ヤマハハコなどがアイサツをしてくれている。ちょっと想定外のウレシイ歓迎をされ、改めて山での一期一会をたっぷり味わった次第である。

岩の多い急登を登りつめると、東籠ノ登山に着いた、風が少し冷たいが眺めは一級品、先の眺望に周囲の山々もぐるりと見渡せる、さすが一等三角点の山頂である、今日は秋の澄んだ空気に覆われているために山肌の緑も一際鮮やかである、この地域のもつ日本離れした高原風景には本当に素晴らしいものがある。

ここから西籠ノ登山を往復する、一旦下り、やはり花の多い道を登り返すと西籠ノ登山である、狭い山頂からは何と云っても湯の丸山、烏帽子岳の奥に広がる北アルプスが峰々の連なりが飽きさせない。

東籠ノ登山へ戻る途中で、風を避けて昼食にしたがこの頃から頭上の雲も切れかかり暑さも戻りつつあった。

東籠ノ登山からは、大きなガレを見せる稜線の先に佇む水ノ登山へ向かう。直ぐに樹林の下りになり、東へガレの縁を辿る道に進んで行く、相変わらず花は多く飽きない道である。



小さな突起をいくつか越して、一旦稜線の北側に回り込んで一登りすると、水ノ登山山頂に出る。頭上はすっかり青空

が広がり、刺すような陽射しを浴びる。

しばし高峰山、黒斑山などを眺めてから下方に見える高峰温泉を目指して、岩の多い道を下りにかかる。この下りでもしばしば花々に足止めされながら、高峰温泉に下り着き、暑い暑い林道(しかも登り)を池の平駐車場まで戻った。復路はしっかりと高速道路渋滞に嵌ったが爽やか気分で行を終えることが出来た。



参加してくれた方々ありがとうございました。素晴らしい山だったでしょ！

(記&写真・涌井良明)